

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	歴史的建築データベース小委員会	主 査 名：池上 重康 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：大橋 竜太 主 査 名：
設 置 期 間	2023 年 4 月 ～ 2027 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>歴史的建築に関する各種情報の集約・管理。 日本建築学会編歴史的建築総目録データベースの管理・運営。 歴史的建築総目録データベースを媒体とした学会・行政・市民の協働。 災害調査支援システムの管理・運営。 初年度：新規に立ち上げた災害調査支援システムと歴史的建築データベースとの連携と管理・運営方法の検討。学会大会において DB の利用と活用にかかわる研究集会を実施する。 2 年度：有事・平常時の建物調査台帳としての情報収集と提供方策を検討。 3 年度：有事・平常時の建物調査台帳としての情報収集と提供方策を検討。 4 年度：学会大会研究集会において、歴史的建築データベースと有事の災害調査体制、およびデータベースを核とした情報提供と共有について議論。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：池上重康 (北海道大学) 幹事：玉田浩之 (大手前大学) 委員：石上隆達 (フリーランス)、稲垣智也 (文化庁)、勝原基貴 (金沢工業大学)、木方十根 (鹿児島大学)、北山めぐみ (高知高専)、清水隆宏 (愛知工業大学)、大宮司勝弘 (大宮司建築設計事務所)、永井康雄 (山形大学)、真木利江 (広島女学院大学)、水野僚子 (日本大学)、三宅拓也 (京都工芸繊維大学)、柳沢伸也 (やなぎざわ建築設計室)、山崎幹泰 (金沢工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2023 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://glohb.aij.or.jp/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	1. PD「歴史的建築データベースのこれまでとこれから」 参加者 115 名 『建築歴史・意匠部門パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 文化庁委託「近現代建造物緊急重点調査事業」の調査の基礎台帳として活用するとともに、改善に向けて協議を継続した。 2. 2023 年 5 月能登半島沖地震と 2024 年 1 月能登半島地震の被災調査を通じた災害調査支援システムの実践的利活用の検討と検証を行った。 3. 大会で研究集会を開催し、データベースの展望について議論した。
委員会活動の問題点・課題	文化庁委託調査報告書のデータ入力が進んでおらず、有事の調査初動体制の整備に時間を要した。災害調査支援システムの検証と本格運用が同時に行われ、利用者の混乱が若干あった。また、技術の進展に伴う新しい連携データベース開発の検討も、今後の課題である。